

はと.

年間スケジュール決定!!

しんじらたかい……

「新潟の水辺を考える会」も、1990年からは、もう少し活発に活動しようということが、12月に行なわれたオ2回総会で話しあわれました。それを受けて、事務局で1年間の年間スケジュールを作成し、既に3月にこのオ1回が行なわれました。それが、会員の皆様にも御案内した「石けんづくり」で、約20名の出席者で、荒井先生の楽しくて、無めのある御指導のもとで、ケガ人もなく無事終えることができました。

2月の例会と、3月の石けんづくりに参加できなかった人のために、年間のスケジュール案を、御紹介します。

3月18日(日) 「生命にやさしい石けんのつくり方」

於・倉庫美術館


合成洗剤のことなど、実際を覗いてから荒井先生が教えて下さいました。私も粉せっけんは既に使っていましたか、その日の帰りに、虹屋土産というやおやさんで、「歯ミガキ粉」を買ってしまいました。歯ミガキ粉が危険とは知らなかった……

4月29日(日) 村松町 早出川ウォーキング

5月27日(日) 魚野川・水無川ウォーキング 交流会

6月24日(日) 水辺コンサート + ウォーキング

7月29日(日) やすらぎ堤ナゴヤサナエ観察 + 学習会

8月19日(日) カヌー体験 

9月23日(日) いも煮会 in 阿賀野川

10月28日(日) オ3回新潟の水辺を考える会シンポジウム

11月18日(日) オ3回総会

12月23日(日) いやばい忘年会 in 信濃川


とまあ、一体どこの会かと思うような、リップは年間スケジュールができています。それをいについての詳細は、随時決めていきますので、多少の変更はあると思います。臨機応変に、水のように形を変えながら対応していきましょう。一応、日も決まっていますので、あらかじめあけておいていただくと、うれしいです。

今までのパターンから見ると、大体集まるのは20人前後です。現在の会員数は約50人で、二社一諸にお配りする名簿には、既に会員でない方も入っているのですが、ほとんどの方は更新していただきます。例会には、会員のオの御家族や、御友人の方も、どうぞお誘いしていらして下さい。ほとんど、命を使う必要のない会ですから、会のおもしろい所は、なんといってもいろいろの人と出会えるということが一番だ！（と私は思っています）

会員のメンバーも、最近はいろいろな人が増えてきました。この会のメンバーは、話したいことをいっぱいもっている方が多いので、飲み会の時は自己紹介だけで、かなりの時間をとってしまうという現象が見られます。それもまたよろしいんじゃないかなあ...という事で、自己紹介、もともとおしゃべりしていきましょう。



3月例会、**せつらん** のつくり方講座  講師: 向陽高校 荒井六男先生

荒井流

- 材料
- 1ℓの廃油に対し (1ℓの油で約50g)
 - 水酸化ナトリウム 140g (減量で買えます。ハンコ必要)
 - ごはん  半せん (味は関係なし)
 - 熱湯 1ℓ

- ・ポリバケツ
- ・かき混ぜる木杓

使った後は熱湯で洗い、使う→食器用洗剤とに使う。

- ①  に水酸化ナトリウムとごはんを入れる
- ② 続いて、95℃に熱した油をいれ (お湯を沸湯せばいい程度)
- ③ **ED** 熱湯を入れると  という音がする。この音がAF心と事
- ③ 4分したら、かき混ぜる (とまみかできるまで) (20~30分くらい)。

④ 7分ほど2日 放置

少しかき混ぜてから、1ℓくらいの熱湯をそそぎ、かき混ぜるとかすように、10分くらいかき混ぜる。③の終わりの状態になるまで。

⑤ ④を3~4回くりかえす。粘り気がでてきたら、石けんのできあがり

参考: 「ALの洗剤読本」「ALの洗剤の洗剤の洗剤」両方とも合成洗剤研究会

1Lの廃油から、1家族で約1年向使える程度の量の石けんがご
まあがります。お試しあれ。化粧品も使いますので、十分注意し
て下さい。

~~~~~  
なんか、もう昔のここのような気もしますが、忘れもしない  
1989年11月18日(土)。「神田川を考える会」の石崎さんから、会報に書  
かれていた一文を御紹介します。(遅くなってゴメンナサイ)

## 水辺の生態工学シンポジウム1989に参加して

去る11月18日(土)、新潟の水辺を考える会(会長大熊孝新潟大学教授)による「水辺の生態工学シンポジウム1989-水を肴に大いに語ろうPART2」が新潟大学工学部で開催された。シンポ終了後は2次会で同会の方々とおいしい肴で酒が飲めるといふ誘いに、新潟まで足を伸ばしてみようと、神田川を考える会の酒好きメンバーである私と坂田、一丸両氏の3人が参加した。会場に到着すると、何と大きな階段教室は最早たくさんの人で埋まっているではないか。私たちの会をはじめ市民グループ単独のシンポなどでは考えられない数の参加者にまずは驚かされた。そして会場入口でいただいたパンフレットはこれもまたボリュームといい内容といいなかなか立派なもの。

基調講演にたったC.W.ニコル氏は「我、谷間は緑なり」と題して故郷南ウエールズの自然回復を中心に自然を守ることの大切さについて体験を通じて話され、自然保護への熱意と彼の感性の豊かさがにじみでる心温まる講演であった。続いて行われた自然環境の復元などに取り組んでいる信州大学教授の桜井善雄氏による「水辺の生態工学」、ホテルやトンボなど生物の保護・再生を中心に水辺環境の回復に取り組んでいる横浜市公害研究所の森清和氏による「ホテル文化と水辺のエコアップ」、生徒と共に学校から排出される雑排水の水質浄化の研究に取り組んでいる新潟向陽高校の荒井六男氏による「雑排水の簡易水質改善の試み」はいずれも聞いていて楽しく、そして興味深い示唆に富む内容で、新潟の水辺を考える会の相楽治氏の「ヨーロッパ近自然河川工法調査報告」、片岡廣夫氏の「新潟の水辺都市イメージ図」などの報告や提案、映画「阿賀に生きる」の監督である佐藤真氏からの出来たてのラッシュによる映画の製作過程の報告など、盛り沢山の内容であった。予定のディスカッションは時間切れで行われなかったが、5時間に及ぶシンポがあつという間に過ぎた感じの充実した内容であった。終了時間を1時間ほどオーバーしながら、会場の参加者たちは全く席を立つことなく、和やかな雰囲気の中で熱心に聞きいていた。恐らく参加者のほとんどが私と同様の感想を持ったに違いない。シンポという欲求不満や消化不良などであまり参加したくない私も、このシンポだけは新潟まで来てよかったという実感を持った。

番外コラム 今回はワカを使いました。最近のトクは手書き文字、ワカがワカらしく、ワカ文字があたりまえに「ワカ」ある今日、手書き文字の新鮮さは、目にもいいものがあるという事で、見直しをしたいと思います。というは、ワカで、ワカワカです。ごめんナサイ。

私が企画して今年8月に実施した「近自然河川工法とライン川の旅」をテーマにした日本河川開発調査会第14回海外河川研修旅行に参加された大熊、桜井両先生のほか、新潟の水辺を考える会の相楽、片岡、森本氏らとの再会も果たせ、また深夜2時まで飲み続け、新潟の水辺を考える会の方々には大変お世話になりました。誌面を借りてお礼申し上げます。  
(石崎正和)

## 新水五則

### 水五則

(如水作)

1. 自ら活動して他を動かしむるは水なり。
1. 常に己の進路を求めて止まざるは水なり。
1. 障碍に遭いてその勢力を百倍するは水なり。
1. 自ら深くして他の汚れを洗い清濁併せて容るるの量あるは水なり。
1. 洋として大海を充し、発しては蒸気となり雲となり雪に変し霰と化し凝りては玲瓏たる鏡となり而もその性を失わざるは水なり。

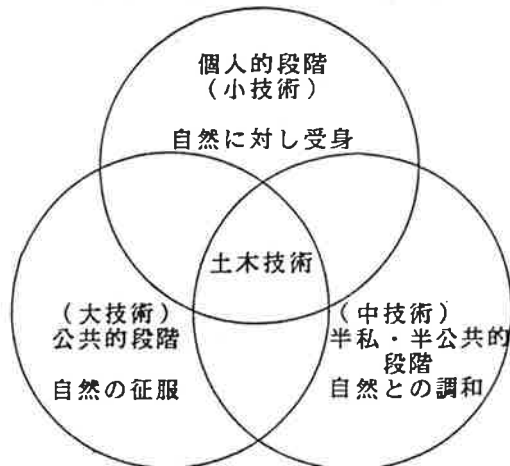
水辺の会 ⇒  
花

### 新水五則

(熊公作)

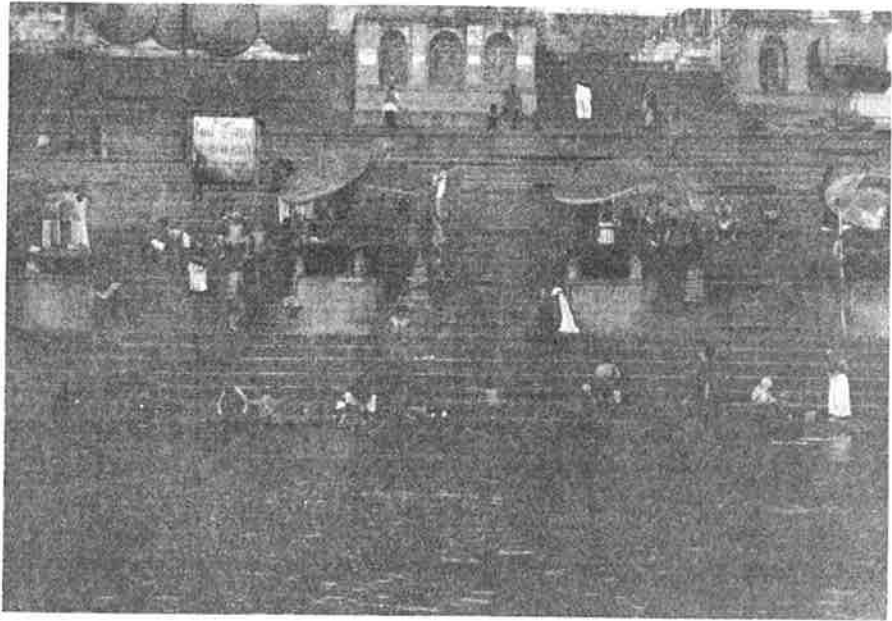
1. 水は地球のみに大量に存在するものにして、物質として奇にして妙なり。
1. 水は循環・運動して地球環境を創造・維持するものなり。
1. 水は生命の循環をつかさどるものなり。
1. 水は人を害しあるいは利し、矛盾するものにして、文化・文明のものとなり。
1. 水は人を育み、人間性を豊かにする根源なり。

### 土木技術の3段階



水害対策・雪処理・下水処理・(教育)

如水作の水五則と、熊公作の新水五則の大きな違いは「生命」という視点の有無でしょう。如水のものは、理化学、物理学的な視点でのみ水をとらえたもので、熊公のものは、生態学、歴史性に重きを置いたものとなっています。皆様  
の御意見、御感想をお待ちしています。



◀ ガンジス川の  
沐浴風景  
(朝 7~8時)

誰もか忘れていたのでは「あいか」と思える「水田考オ3号」です。編集者の独断と稀見で「まあつりま」で、お見苦しい所も少々あるとは思いますが、ごかんぱん下さい。今年の水田の会は 月一回という活動ですので、御都合のつく時は、お邪魔して参加して下さい。また、会員にはお飲み会や、遊びなども企画して、周辺のとも巻きこんで楽しませよう！

スペースの余りを利用して、「インド旅行記 ガンジス編」。朝真黒なうちからオートバイで乗り、ポーランドに行く。ガンジス川下りは観光客のMENUに入っている。T&Eの観光客と出会った。日本人も多い。カカウの町中を歩いている時は、1人もあつた。Japaneseが、ニハにいた。... カカウは暑かた。こつは、カジツ。... 子供が2人乗っているボートが近づき、花のついで、D-V(?)を買った。お祈りして、川に流す。D-VのXをポーとやる。... 反対が、カカウに言う。川岸には、人や川は動かない。流すかT&Eか。流すかT&Eか。岸にあがると、川を泳ぐかT&Eか。... ガンジスで、あつた。... あつた。

「水田考オ3号」 1990年4月 「新潟の水田を考証会」発行 担当◎  
〒950-21 新潟市五十嵐1の町 7821-5 Tel 025(263)1133

